

猫新聞

ゴーキャッツは浜松市を中心に、飼い猫・野良猫の不妊手術推進、猫の譲渡会開催などの活動をしています



郵便振込口座
00830-2-204941 Go!Cats
HP: <http://go-cats.main.jp/>

殺処分のこと、捨てられた犬や猫のこと、動物

実験のこと…Go!Catsは、動物がおかれている現状を知りたいと、そして、動物たちのために何ができるかを考えたいと、10年前からサークル・マムやJAVAなどの団体と共に浜松駅北口でパネル展を開いています。

悲惨な動物の写真を見て「ほんとうにかわいそう。でも私は何にもできなくて…」とおっしゃる方が多いのですが、いえいえ、そんなことありません。動物たちの為にできること、たくさんあるのです。パネル展で私たちと一緒に考えて下さいませんか。



動物たちのために私たちができること——パネル展で考える

動物実験で犠牲になる動物を減らしたい

私達が日頃使っているシャンプー、リンスや歯磨き粉、化粧品などの製品を作る際に、たくさんの動物達が実験台にされ、苦しんだのちに殺されています。「知らなかつた…」という方も多いでしょう。それもそのはず、動物実験の様子は一般には公開されず、ひた隠しにされる傾向があります。なぜ隠すのか?——そのあまりに惨い実験の様子を公開すれば、非難の声が高まり、実験が出来なくなるからです。実際に欧米では、事実を知った消費者たちからの非難の声を受け、多くの化粧品メーカーが動物実験をやめるようになりました。今年3月、EUでは化粧品の動物実験が完全に禁止されました。日本では、大手化粧品メーカーの資生堂がこれに合わせて動物実験の廃止を発表しましたが、まだまだ多くの企業が動物実験を行っています。

私たちにできること——それは、「動物を犠牲にしていないメーカーの製品を選ぶこと」。

化粧品も動物実験をしないで作られたものがたくさんあります。日本でも、そして、ここ浜松でも、動物実験をしていない企業の化粧品を買うことが出来ます。一人ひとりが今使っている製品を見直すことで多くの動物達を救うことができます。

殺処分される犬や猫を何とかして減らしたい

	引き取り	譲渡	殺処分
成猫	214	9	205
子猫	761	119	642

この表は浜松市の昨年度の猫の引き取り数と殺処分数です。成猫はほぼ全頭が殺処分されています。胸が痛みます。

そして、この表から、殺処分された猫の約7割が子猫であることがわかります。

生まれたという理由だけで、飼い主がいないという理由だけで、殺される——なんと酷いことでしょう。

でも、猫の場合はこの統計によって、殺処分数を減らす為の解決法が見えてきます。

私たちにできること——それは「殺される子猫を産ませないこと」つまり、避妊・去勢手術の推進です。Go!Catsは皆様からのご寄付や募金を基金として、飼い主がいない猫の避妊・去勢手術にメス6000円、オス4000円の助成金をお出ししています。協力してくださる病院もご紹介します。事務局にお問い合わせ下さい

ファッションの犠牲になる動物を減らしたい

「毛皮のコートなんて着ないわ」とおっしゃる方も「毛皮なんて高くて買えないよ!」とおっしゃる方もよ~く身の回りを見てください。

フードや襟元、バッグやアクセサリーや小物などに付いていませんか?“ファー”と呼ばれているもの。それも、“本物の毛皮”です。

それらの物を売って儲けるために、そのためだけに、たくさんのキツネやたぬきやいたちやウサギや犬や猫や…様々な動物が劣悪な環境の中で繁殖させられ、殺され、時には生きたまま毛皮をはがれているのです。

ファーを買う人がいる限り、生産は続き、動物たちの犠牲は減りません。

ファーを買うあなたが動物を殺しているのです。

私たちにできること——それは、「ファーのついたものを買わないこと」。それによって多くの動物の命が救われます。

これからは、目にとまった品物にファーがついたら、店員さんに「これはリアルファー?それともフェイク?」と聞いてみましょう。

「もーちろん本物ですっ!!」と返事がきたら、肩をちょっとすくめて「うーん、残念。フェイクだったら買うんだけどな~」とダメ押しもお忘れなく。

資生堂が動物実験を廃止

3月28日、大手化粧品メーカーの資生堂が2013年4月から化粧品の開発のための動物実験を原則廃止すると発表しました。EU域内では13年3月11日以降は動物実験を経た化粧品だけでなく、動物実験をした原料を配合してある製品も販売が禁止されることになっていますから、これに対応した決定ということになります。理由はともあれ、一步前進を評価したいですね。資生堂では動物実験に変わる方法として人工皮膚を使った試験などで安全性を保証できる体制を確立したとしていて、今後代替法が各国・地域でも正式な実験方法として認可されるよう、工業会活動などを通じて積極的かつ強力に各国の行政機関に働きかけていくそうです。日本の他のメーカーも追随してほしいものです。

ペットは一緒に避難を

環境省が初の指針を配布へ

東日本大震災では本当にたくさんの動物が被災しました。今なお飼い主さんの元に帰れない犬や猫がどれほどいることでしょう。環境省では、この教訓を踏まえて、初めて「被災動物の救護対策ガイドライン」を作成することを決め、災害時にペットは原則として飼い主と一緒に避難するよう明記した概要をまとめました。概要には、「災害発生時は原則として、飼い主とペットは同行避難を行う」と明記されており、自治体に対して避難所や仮設住宅での受け入れ態勢の整備を促す一方で、飼い主にもペットの避難用品の準備やしつけを求めています。また、けがをした動物の保護や、地元の獣医師会や民間団体との災害協定の締結なども盛り込まれる見込みです。



Q：近所の空き地で数匹の猫の世話をしています。隠れてやっているので、これ以上増えると困るのですが、手術も可愛そうでなかなか決心がつきません。

A：「手術はかわいそうだから」とおっしゃる気持ちは良くわかります。でも、手術をせずにいて、仔猫が生まれてしまったら、その仔猫たちはどうなるでしょうか？保健所に連れて行かれて殺されるかも知れません。風邪を引いて弱って死んでしまったり、車にひかれて死んでしまったり、あるいはカラスに食べられてしまったりするかも知れません。もし何匹かが頑張って生き延びたとしたら、それはそれで繁殖が進み、「迷惑な猫集団」として人にうとまれる存在になってしまふことでしょう。かわいそうに思ってためらった結果が、かわいそうな猫をさらに増やすことになってしまいます。そうなる前に今世話をしている猫たちの手術を済ませませんか？その上で、さらに、置きエサをしない、排泄物の始末をする、周辺の衛生に気をつけるなどして適切に世話をしていくれば、周囲の方たちの理解も得やすいのではないかと思います。Go! Catsでも手術費用の助成金を用意しています。事務局にお問い合わせください。



「小さな命について考えるパネル展」

日時：毎月第4土曜日(12:00～17:00)

場所：遠鉄百貨店正面玄関前(雨天中止)

殺処分のこと、捨てられた犬や猫のこと、動物実験のこと、

パネルを通して動物たちが置かれている現実を

見つめてください。

どうぞおでかけください！

※譲る会もパネル展も場所や日時を変更することがあります。

「みんな幸せになってほしい！」と願って開く

「仔猫・若猫譲る会」

第1回曜日：ペット愛ランド早出町店(11:00～15:00)

(7～9月は会場を変更します)

第2回曜日：熊平動物病院(半田山 12:30～15:30)

第3回曜日：ペット愛ランド志都呂店(11:00～15:00)

第4回曜日：西山会館(西山町 13:00～16:00)

元気でかわいい猫たちがたくさん参加します。

